

安全データシート

ページ: 1/11

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 21. 03. 2024

製品: Starvis C 102 F

バージョン: 3.2

(30858878/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 07.10.2025

1. 化学品及び会社情報

品名:

Starvis C 102 F

用途: セメント用添加物

供給者の会社情報、住所及び電話番号:

BASFジャパン株式会社

東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号

OVOL 日本橋ビル 3階

電話番号: +81-3-5290-3000

Eメールアドレス: Japan-SDS-Info@basf.com

緊急連絡先:

電話番号: 03-6634-2245

+49 180 2273-112 (International emergency number)

2. 危険有害性の要約

【化学品のGHS分類】:

本製品は、GHS分類基準に該当しない。

【GHSラベル要素】:

本製品は、GHS基準により有害性警告表示を必要としない。

GHS分類に関係しない又は GHSで扱われない他の危険有害性:

本品は、条件によっては粉塵爆発を起こす可能性がある。

3. 組成及び成分情報

化学特性

化学物質・混合物の区別: 混合物

共重合体, 合成の, 高分子

GHS分類に寄与する成分

アクリルアミド

含有量 (W/W): < 0.1 %

CAS番号: 79-06-1

化審法: (2)-1014

労働安全衛生法: (2)-1014

急性毒性: 区分 3 (経口)

急性毒性: 区分 4 (吸入ーミスト)

急性毒性: 区分 4 (経皮)

皮膚腐食性／刺激性: 区分 2

眼に対する重篤な損傷／眼刺激性: 区分 2A

皮膚感作性: 区分 1B

生殖細胞変異原性: 区分 1B

発がん性: 区分 1B

生殖毒性: 区分 2 (生殖能力)

特定標的臓器毒性 (反復暴露): 区分 1

水生環境有害性 短期(急性): 区分 3

4. 応急措置

[応急措置をする者の保護に必要な注意事項]:

汚れた衣服は取り替える。

[吸入した場合]:

粉塵を吸入して具合が悪くなった場合、新鮮な空気の場合に移動させ、医師の診察を受けること。

[皮膚に付着した場合]:

石鹸と水で完全に洗い流すこと。

[眼に入った場合]:

直ちにまぶたを開き流水で15分以上洗い流した後、眼科医の診察を受ける。

[飲み込んだ場合]:

口をすすぎ、そして200-300mlの水を飲む。中毒情報センターまたは医師の指示がない限り、吐かせないこと。

[医師に対する特別な注意事項]:

症状: (他の) 症状や影響については現時点で知られていない。

処置: 症状に応じて処置(洗浄・機能回復)を講じる。特に解毒剤なし。

5. 火災時の措置

[適切な消火剤]:

粉末, 泡

[使ってはならない消火剤]:

二酸化炭素

[追加情報]:

粉塵爆発の危険性があるため、粉塵を発生させない。

[火災時の特有の危険有害性]:

有害な蒸気

フューム/霧の発生 火災の場合、前述の物質/物質グループが放出される可能性がある。

[消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置]:

自給式呼吸器を着用すること。

[追加情報]:

燃焼物および火災条件により危険度が変わる。汚染された消火用水は、法令に従い処分すること。

6. 漏出時の措置

[人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置]:

粉塵を発生させない。保護具を着用する。

[環境に対する注意事項]:

容器に汚染水/消火用水を取り集める。排水溝等に流出させない。

[封じ込め及び浄化の方法及び機材]:

少量の場合: 適切な器具を用い回収し、廃棄すること。定められたように、汚染された物質を廃棄する。そのあとは、水を用いて洗い流す。

大量の場合: 適切な器具を用い回収し、廃棄すること。法令に従って吸着剤を廃棄すること。

水で洗浄しないこと。粉塵を発生させないこと。そのあとは、水を用いて洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

[取扱い]

粉塵を発生させない。適切な保護衣および眼/顔面用の保護具を着用すること。粉塵/ミスト/蒸気を吸入しない。換気装置なしに大量に取り扱う場合は呼吸保護具を着用する。

安全取扱注意事項:

粉塵を発生させない。静電気放電に対する予防措置を講ずること。

[保管]

適切な包装容器材料: 高密度ポリエチレン (HDPE), 紙
保管条件に関する追加情報: 容器は密閉して乾燥した場所に保管する。出荷容器のまま、換気が十分な乾燥した冷暗所において、点火源、熱または炎から離して保管すること。直射日光を避ける。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

アクリルアミド, 79-06-1;

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 0.03 mg/m³ (ACGIHTLV), 吸入可能留分及び蒸気

TLV (threshold limit value : 管理濃度) 0.1 mg/m³ (労働安全衛生法 (JP))

経皮吸収の表示 (日本産業衛生学会 許容濃度)

本物質は皮膚を通して吸収される。

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 0.1 mg/m³ (日本産業衛生学会 許容濃度)

経皮吸収の表示 (ACGIHTLV), 吸入可能留分及び蒸気

経皮吸収の危険性

経皮吸収の表示 (ACGIHTLV), 吸入可能留分及び蒸気

経皮吸収の危険性

【保護具】

[呼吸用保護具]:

低濃度において、または短時間有効な適切な呼吸保護具: 固体および液体微粒子に対して中性能粒子フィルター (例: EN 143または149、タイプP2またはFFP2)

[手の保護具]:

耐化学薬品保護手袋

(標準化されたもの。 例としてJIS)

[眼の保護具]:

側面遮蔽板付き保護メガネ

[一般的な安全及び衛生対策]:

労働安全衛生に関する実施基準に従い、取り扱うこと。上下一体型作業衣の着用が望ましい。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態:	粒状固体
色:	白色～僅かに着色
臭い:	特異臭
臭いのしきい値:	適用情報なし

BASF 安全データシート
日付 / 改訂: 21.03.2024
製品: Starvis C 102 F

バージョン: 3.2

(30858878/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 07.10.2025

pH:	約 7 - 9.8 (水, 1 % (m), 20 ° C)	
融点:	物質が分解するため、測定不能。	
沸点:	試験は、科学的に正当化されていない。	
引火点:	適用せず	
可燃性 (固体/ガス):	引火性ではない。	
爆発下限界:	250 g/m ³ 測定されていない。、類似組成の製品からの類推による。	
自然発火温度:	520 ° C 本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。	(BS EN 50281-2-1 Method B)
熱分解:	測定されていない。	
自己発火性:	粉末状固体データ 測定されていない。	試験の種類: 高温で自己発火する (測定方法: VDI 2263, sheet 1, 1.4.2)
自己発熱性:	試験の実施は、必要ない。	
最小発火エネルギー:	> 10 J 誘導性: 1 mH 粒度分布: < 63 µm 誘導性を伴って	
爆発危険有害事項:	爆発性なし。	
火災を引き起こす性質:	火災伝播性はない。	
蒸気圧:	製品は未試験である。	
密度:	データなし。	
嵩密度:	約 500 kg/m ³	
水に対する溶解性:	可溶 (20 ° C)	
水混合性:	(20 ° C) 可溶	
湿度測定:	吸湿性	

BASF 安全データシート
日付 / 改訂: 21.03.2024
製品: Starvis C 102 F

バージョン: 3.2

(30858878/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 07.10.2025

n - オクタノール/水分配係数 (log Pow) :
試験の実施は、必要ない。

粘度:
適用せず

固形分: > 91 %

10. 安定性及び反応性

[避けるべき条件]:
製品安全データシートの第7項の取り扱い及び保管上の注意を参照すること。

熱分解: 測定されていない。

[混触危険物質]:
強酸, 強塩基, 強酸化剤, 強還元剤

金属の腐食: 金属に対する腐食性はないと予測される。

[危険有害な分解生成物]:
粉塵爆発の危険性あり。

[危険分解物]:
通常 of 取扱い条件下で危険分解物なし。

化学安定性:
製品は取扱説明書に従って貯蔵すれば安定である。

反応性:
指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。

11. 有害性情報

ばく露経路

急性経口毒性

実験または計算によるデータ:
LD50 (半数致死量) ラット (経口): > 5,000 mg/kg
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

急性吸入毒性

LC50 (半数致死濃度) ラット (吸入による): 4 h
測定されていない。

急性皮膚毒性

LD50（半数致死量） ラット (経皮):
測定されていない。

急性毒性の評価

単回の経口摂取であれば、実質上毒性はなし。 入手可能なデータに基づくと、分類基準に該当しない。

症状

(他の)症状や影響については現時点で知られていない。

刺激性

刺激性作用の評価:
意図的な使用と適切な取扱をすれば、刺激性はないと考えられる。 入手可能なデータに基づくと、分類基準に該当しない。

実験または計算によるデータ:
皮膚腐食性／刺激性 ウサギ: 刺激性なし
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 ウサギ: 刺激性なし
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

感作性の評価:
感作性なし 本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

実験または計算によるデータ:
モルモット: 感作性なし (OECDテストガイドライン406)
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

生殖細胞変異原性

変異原性の評価:
成分に基づき、変異原性効果の疑いはない。

発がん性

発がん性の評価:
評価できるすべての情報は、発がん効果を示す証拠はない。

生殖毒性

生殖毒性の評価:
成分に基づき、生殖毒性効果の疑いはない。

発生毒性

催奇形性の評価:

成分に基づき、催奇形性効果の疑いはない。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

利用できる情報に基づくと、単回ばく露後に予測される特定標的臓器毒性はない。

注意: 本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

反復投与毒性の評価:

反復投与毒性に関する信頼できるデータなし。入手可能なデータに基づくと、分類基準に該当しない。

誤えん有害性

予測される吸入危険性はない。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生生物に対する毒性の評価:

入手可能なデータに基づくと、分類基準に該当しない。水生生物に対して急性の有害性はほとんどないと考えられる。

魚類に対する毒性:

LC50（半数致死濃度）(96 h), 魚 (その他)

測定されていない。

水生無脊椎動物:

LC50（半数致死濃度）(48 h), ミジンコ属 (その他)

測定されていない。

水生植物:

EC50 (72 h), 藻類 (その他)

測定されていない。

微生物/活性汚泥への影響:

EC50 (0.5 h), バクテリア (その他)

測定されていない。

魚類に対する慢性毒性:

データなし。

水生無脊椎動物に対する慢性毒性:

データなし。

陸生生物に対する毒性の評価:

陸生生物に対する毒性についてのデータは得られていない。

移動性

環境区分間の輸送評価:

データなし。

生体蓄積性

生体蓄積性の可能性評価:

データなし。

[追加情報]

環境面での最終到達点及び経路に関する追加説明:

生物学的廃水処理設備における処理は、法的小および社内規則に従って行わなければならない。

13. 廃棄上の注意

国内の法令に従い廃棄するか焼却すること。

[汚染された容器]:

汚染されていない容器は再利用できる。

汚染された容器は製品と同様に廃棄する。

14. 輸送上の注意

国際陸上輸送:

輸送規則では危険有害性物質に分類されていない

国連番号もしくはID番号 非該当

品名 (国連輸送名): 非該当

国連分類 (輸送における危険有害性クラス): 非該当

容器等級: 非該当

環境有害性: 非該当

使用者への特別注意事項 知見なし

海上輸送

IMDG

輸送規則では危険有害性物質に分類されていない

国連番号もしくはID番号: 非該当

品名 (国連輸送名): 非該当

Sea transport

IMDG

Not classified as a dangerous good under transport regulations

UN number or ID number: Not applicable

UN proper shipping name: Not applicable

BASF 安全データシート
日付 / 改訂: 21. 03. 2024
製品: Starvis C 102 F

バージョン: 3.2

(30858878/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 07.10.2025

国連分類（輸送における危険有害性クラス）:	非該当	Transport hazard class(es):	Not applicable
容器等級:	非該当	Packing group:	Not applicable
環境有害性:	非該当	Environmental hazards:	Not applicable
海洋汚染物質:	非該当		Marine pollutant: no
使用者への特別注意事項	知見なし	Special precautions for user	None known

航空輸送

IATA/ICAO

輸送規則では危険有害性物質に分類されていない

国連番号もしくはID番号: 非該当 |品名（国連輸送名）: 非該当 |国連分類（輸送における危険有害性クラス）: 非該当 |容器等級: 非該当 |環境有害性: 非該当 |使用者への特別注意事項 知見なし |**Air transport**

IATA/ICAO

Not classified as a dangerous good under transport regulations

UN number or ID number: Not applicable |UN proper shipping name: Not applicable |Transport hazard class(es): Not applicable |Packing group: Not applicable |Environmental hazards: Not applicable |Special precautions for user None known |

国内輸送規制はSDSの15章を参照のこと。

15. 適用法令

消防法: 非危険物

その他の規則**16. その他の情報**

【JIS Z 7252/7253 : 2019準拠】 本SDSに記載されていない必要項目は、情報が無いことを示す。

本SDSにおいて労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。

左余白の縦線は前バージョンからの改訂部分を示す。

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 21. 03. 2024

製品: **Starvis C 102 F**

バージョン: 3.2

(30858878/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 07.10.2025

本安全データシートに含まれるデータは、当社の最新の知識及び経験に基づいて製品を安全性基準の観点からのみ説明するものであり、製品の特性（製品規格）を説明するものではありません。また、当該製品が特定の目的に適した性能・特性を有しているか否かを判断するためのものでもありません。本製品の使用者は自己の責任において製品に関わる特許等の所有権を尊重し現行の法律及び規則を遵守して下さい。